科目	単位	時間	履修学年	担当者
小児看護援助論Ⅰ	1	30	2	医師・医師・医師・看護師・専任教員(公益社団法人地域医療振興協会に委託)

ねらい	小児の特徴的な疾患、病態、症状及び検査・治療について理解し、小児期にある対象の健康障害に応じた看護を学ぶ。

回数	授業内容	授業方法
	【疾患】	
1回目	1．小児の代表的な疾患の理解　（15時間）	講義
2回目	1）呼吸器疾患　2）消化器疾患	講義
3回目	3）腎・尿路疾患　4）痙攣性疾患	講義
4回目	5）血液疾患　6）感染症　7）小児がん	講義
	8）自己免疫疾患　9）膠原病　10）アレルギー疾患	講義
5回目	11）循環器疾患	講義
6回目	12）新生児疾患	講義
7回目	13）内分泌疾患　14）先天異常	
	【看護】	
	2．病気・障害をもつ子どもと家族の看護　総論/第1章(P202～P215)	講義
8回目	3．子どもの状況(環境)に特徴づけられる看護	講義
9回目	総論/第2章(P218～P248)	
	4．子どもにおける療養の経過と看護　総論/第3章(P250～P280)	講義
10回目	5．症状を示す子どもの看護　総論/第5章(P342～P409)	講義
11回目		
12回目	6．検査・処置を受ける子どもの看護　総論/第6章(P412～P475)	講義
13回目	7．障害のある子どもと家族の看護　総論/第7章(P478～P489)	講義
14回目	8．子どもの虐待と看護　総論/第6章(P492～P504)	講義
15回目		
（45分）	終講試験	試験
16回目(45分)		

教科書	【小児疾患】系統看護学講座　専門分野Ⅱ　小児看護学②　小児臨床看護各論　(医学書院) 【小児看護】系統看護学講座　専門分野Ⅱ　小児看護学①　小児看護学概論・小児臨床看護総論　(医学書院)
評価方法	筆記試験　(1時間［45分間］　：　100点　) ①　小児疾患　50点（講師:27点、講師・講師;23点） ②　小児看護　50　点（講師:20点、講師:30点　）
備考	